



**「海のお仕事体験プロジェクト
(海と日本2024)」
実施報告書**

海のお仕事体験プロジェクト

目次

・ 事業概要	… P2～P3
・ 事業実績と総括	… P4～P6
・ 事業内容	… P7～P43
- 体験事業	
- WEB事業	
・ メディア露出実績	… P44～P49
・ 参考資料	… P50～P51
- 二次的波及（定性的な効果）	

事業概要

事業目的 「お仕事体験」を軸に子供と地域をつなぎ、子供達の成長と地域の発展に寄与すると共に海への理解を深め、アクションの変容につなげる。また「リアルお仕事体験プラットフォーム」を基盤に、地域行政・企業と一体となる取り組みを推進し、主体的かつ継続的な展開を前提としたプログラム開発・運用支援を行うことでフランチャイズ化を図り、体験の種類・数・エリアの拡大、メディア露出の機会増を狙う。

事業目標 ●海のお仕事体験プロジェクトの“ネットワーク”の拡大
「神戸」「清水」での実績を踏まえて、都市部の「港」をテーマとした企画を展開することで、海洋関連の主要大企業や行政を巻き込んだ一体感の醸成、それに伴うメディア露出機会の増加、また参加のし易さから新規参加者やリピーター（体験の回遊）が望めることから、首都圏のブランド露出の課題に対し、「横浜港」での企画を実現し、主要都市部でのお仕事体験ブランドのシンボル企画として昇華させる。一方で、全国の各地方からも海に関する事業者の活性化やエリア展開の種まきとして、体験プラットフォームの導入・拡大を継続。さらに、自走事業者には一定の体験の質を保つためのクオリティマネジメントを行い、お仕事体験のブランドを各地域で長く続く基盤を整えていく。

24年度目標数値：30コンテンツ（全体15、清水10、横浜5）

事業内容 【体験事業】
・ 「海のお仕事」体験イベントの企画・運営

【WEB事業】
・ 「海のお仕事体験」WEB/SNS発信

コンセプト等 『海のお仕事体験プロジェクト こどもわーく』は、子どもたちが“リアル”な海のお仕事に触れることにより、海水浴等のレジャーとしての「海」だけではなく、私たちの日々の生活を支える産業や文化など多角的な視点からの「海」を知ること、「海」を身近に感じ「海」の問題をより深く自分ごととして考えるきっかけを創るとともに、その過程で「ものごと」を多面的に捉える力を養ってほしい、との思いで推進している取り組みです。

仮想空間ではない「本物の仕事現場」で「本物の仕事」を体験として提供するもので、3C（CHANCE(機会)・CHALLENGE(挑戦)・CHANGE(変化)を子どもたちの成長テーマに据え、そのため、「お仕事」として子どもたちに捉えてもらえるように、楽しいのみならず一定の責任感・緊張感をもって取り組めるストーリーづくりや体験の流れ、スタッフの振る舞いや小道具などを用いて夢中になれる世界観づくりを強く意識しています。

また本プロジェクトは、企画～コンテンツ運営ノウハウ・集客スキームの導入・普及の円滑化を目的とした「海のお仕事体験プラットフォーム」を整備し、事業者・地域での事業継続を念頭に推進。継続可能性を前提とした、事業内容および収支を計画しています。

事業実績と総括

□開催実績

【体験】

連携事業者数： 39 社
エリア事務局連携数： 3 エリア 6 本開催
企画総数： 43種（開催本数：48回、中止8本 ※悪天候・事業者都合により）
参加者総数： 643名(親・子含め)

【WEB】

総PV数： 210,000回以上
(2024年5月~2024年12月)

【SNS】

LINE会員数： 2,508 名

参考：2023年度実績

協力事業者数:32業者
企画総数： 31種（開催本数： 36本、中止： 2本）
参加者総数： 456名(親・子含め)

□事業全体総括

24年度においては、開催地域、地域団体・企業との連携がさらに拡大し、事業開始時の2019年から累計して、全国で141種類の海に関わる産業をお仕事体験コンテンツ化を行い、約3,700名の親子が参加。また、全国へのお仕事ネットワークの拡がり地域全体での“面”による企画展開により、下記の成功要因が生まれた。

1. 企業連携による体験の幅出しと新エリア「こどもわーくin横浜」の実現

→子ども達に産業の面から、多面的な海の体験機会を提供するべく、水産・海洋土木、研究、観光業など、多様な企業・団体との連携取り組みを実施。テトラポッド開発、サクラエビのゲノム研究、水中ドローン等、企業の参画が増えた為に、多様な体験コンテンツがラインナップ。同シーズンにお仕事プロジェクトを回遊するリピーターも増加。また、地域全体での取組を目指した新エリア横浜にて、港を支える産業を行政と連携し、お仕事体験化を推進。港湾・観光・研究等、横浜の海を多面的に体験できる機会を提供。

2. 海野常務・静岡市長・鈴木副社長 3者鼎談による 地域内ブランディングの向上

→こどもわーくin清水港」の地域定着化を目指し、プロジェクト認知拡大・地域行政および企業との連携強化を目的に、常務および地域の主要人物を巻き込んだ3者鼎談企画を実施。この企画により、地元主要メディア含む、31媒体に露出。地域内でお仕事プロジェクトの認知や注目度が高まり、次年度以降、地域内での事業継続化に向け、行政・主要企業/団体内で前向きに検討が始まった。

□WEBの総括について

流通支援による安定的な送客を行うことにより、既存事業者での受け入れ態勢が強化され、開催本数の増加につながった。また、清水・横浜港などのエリア特集ページを展開したことで、リリースやメディア露出の際に、プロジェクトの理解促進の役割を果たした。また、イベント時におけるLINE会員の誘致および、会員向けのコンテンツ告知施策を行い、会員が23年比 164%、2,500名強に伸長。また体験後のアウトプットの場合として、WEB上にて「自由研究コンテスト」を開催、教育委員会に表彰される子どもがでるなど、優良な2次波及効果が見られた。

□今後に向けた課題

24年度においては、主に静岡市との取組が拡大し、25年に向けて地域での定着・継続されるプロジェクトとしての光明がみえた。神戸市・静岡市のように、海のお仕事体験プロジェクトが地域で継続され、行政や企業が主体的に関わり、自主予算を確保するような、地域として必要な不可欠な事業としてのポジションを、新たなエリアで横展開できるよう推進。また、更に子ども達に多面的な海体験の機会を提供するべく、「文化・芸能・伝統工芸」など、港湾産業だけに囚われない広義での体験職種の拡大に努める。

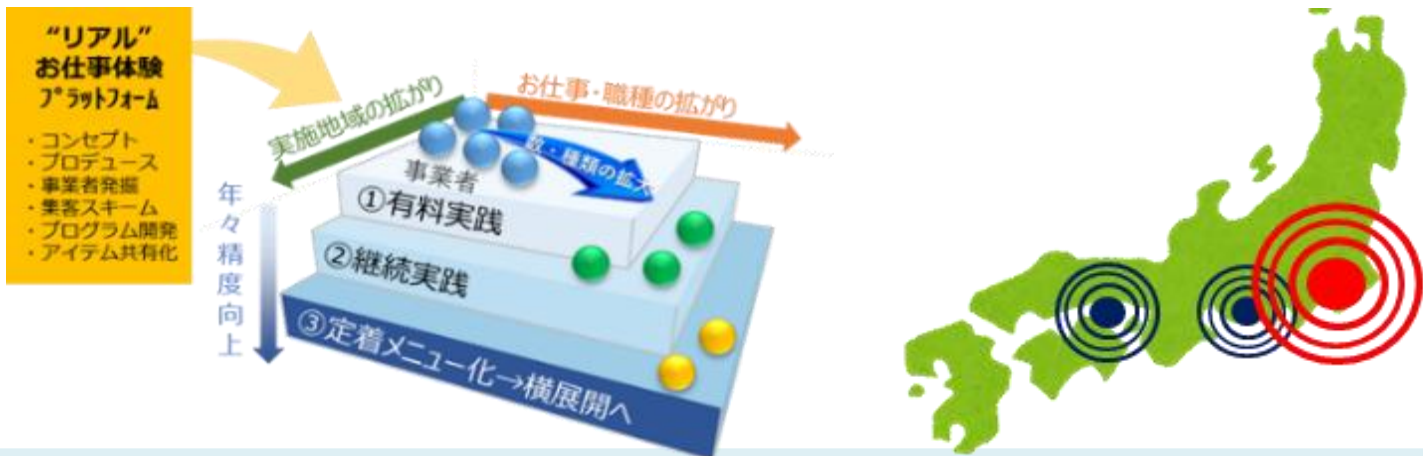
□今後の展望について

●事業方針

神戸市・静岡市（清水港）で展開する地域一体型企画における成功事例を踏まえ、本プロジェクトの事業目的・実施内容は、各地域の行政・産業が抱える課題（人材流出・地域活力の低下等）との相関性が高く、行政や経済団体など地域社会全体を考える機構との間で、課題や目的の共通理解を形成しやすいことが分かった。今後は地域にとって、必要な事業活動としてプロジェクトの地域定着化を促していくことで、地域における行政・企業が一体となって取り組むプロジェクトに昇華させ、子ども達に継続性ある多面的な海体験機会を提供する。そして、地域にとって必要なプロジェクトとしてのポジショニングをとることで、地域行政・企業が自ら一定の予算を投下する意義を見出し、事業継続を目指す。

●体験の展開

生活に紐づく水産や港湾などの仕事のみならず、海洋国家日本を支えてきた海洋文化や伝統・職人・芸能など、“仕事”を広義で捉え、子ども達にあらゆる観点から好奇心を刺激し、海とのつながりを意識させる機会を提供。また、“今を知り・未来を考える”をテーマに、先進技術や海洋人材の情熱・価値観に触れながら、未来への期待感や将来性を感じるお仕事体験プログラムを展開し、海に対する興味関心・好奇心を高め、海に積極的に関わるアクションを起こす子ども達が増える取り組みを目指す。



-“ 海のお仕事体験プロジェクト “ネットワーク”の拡大-
地域集中型の展開と類型 体験種別 141種以上！

24年度 注力エリア（静岡市・神戸市）

兵庫県（32コンテンツ）					
24年	保安	海上保安官	24年	水産	昆布の商品企画
24年	研究	フジツボ・クラゲ調査	24年	港湾	海の管制官
24年	水産	陸上養殖	24年	技術	海の未来
24年	港湾	重量貨物輸送	24年	保安	海の消防士
24年	観光	水族館飼育員	22年～	観光	豪華客船クルー
23年～	研究	ブラクトンの生態調査	22年～	港湾	港湾職員
23年～	観光	御座船 船長	22年～	観光	観光船クルー
23年～	流通	サビキ仕掛けの商品開発	23年	水産	養殖業
23年～	流通	おつまみ商品の開発	23年	研究	海洋の未来を考える研究員
23年～	開発	水中ロボット開発エンジニア	22年	水族館	魚の飼育員
23年～	水族館	外来生物の展示・飼育	22年	流通	水産品の開発員
23年～	造船	造船所	22年	港湾	物流オペレーター
23年～	開発	水中ロボットの海洋調査員	22年	研究開発	研究開発員（魚探）
22年～	インフラ	フェリー船員	22年	水族館	カメの飼育員
22年～	保安	ライフセーバー	22年	流通	魚市場スタッフ
22年～	漁師	漁師（かご網漁）			

静岡県（36コンテンツ）								
24年	港湾	清水港 ガイド員	22年～	環境保全	柿田川湧水の水環境保全	22年	インフラ	海×伊豆急鉄道
24年	養殖	三保サーモン陸上養殖	22年～	保安	海を守る（海上保安部）	22年	研究所	水産研究員
24年	水族館	ウミガメ飼育員	21年～	水族館	海の手配士	22年	観光	まっぶる編集部員
24年	水産	清水魚市場 まぐろ仲卸	20年～	環境保全	サンゴの保全	22年	インフラ	初島フェリー運航
24年	造船	溶接職人	20年～	漁師	深海漁師	22年	水族館	幼魚水族館スタッフ
24年	造船	クレーン操縦士	20年～	観光	イルカトレーナー	21年	水族館	深海魚PR
23年～	水族館	幼魚水族館の館長	20年～	漁師	漁師(定置網漁業)	21年	水産	ひもの作り
23年～	研究	サクラエビ研究	19年～	水族館	イルカ飼育員	21年	農業	わさびの収穫
23年～	水産	シーチキンの加工	19年～	観光	ネイチャーガイド	21年	水族館	展示水槽プロデュース
23年～	流通	コンテナターミナル	23年	土木	潜水士	20年	漁師	一本釣り漁と魚の出荷
23年～	造船	造船所スタッフ	23年	水族館	サメ博士 PR	20年	インフラ	船で人やモノを運ぶ
22年～	インフラ	駿河湾フェリー 運航	23年	研究	ドローンの環境保全	20年	観光	新しい観光ツアー開発

富山県（3コンテンツ）			
20年	林業	環境保全（山編）	
20年	環境保全	環境保全（川編）	
20年	漁師	漁師	

島根県（5コンテンツ）			
24年	保安	海上保安部	
22年～	水族館	カニ水族館	
23年	観光	ライフセーバー	
23年	漁師	かに漁	
23年	観光	観光船	

長崎県（6コンテンツ）			
24年	水族館	水族館スタッフ	
24年	水産	漁師・かます加工	
23年	水産	ひもの加工	
23年	水産	ふく問屋	
22年	漁師	いりこ漁師	
22年	水産加工	かまぼこ職人	

島根県（3コンテンツ）			
23年	観光	ダイビングスタッフ	
22年	流通	「海辺の朝市」販売	
22年	流通	スーパーお魚売場	

山形県（3コンテンツ）			
24年	観光	アクティビティガイド	
23年	漁師	鮭の漁師	
23年	観光	ライフセーバー	

新潟県（4コンテンツ）			
24年	漁師	沢崎漁師	
22年	漁師	佐渡の三枚網漁師	
22年	漁師	里海と里山の漁師	
21年	漁師	佐渡島の漁師	

東京都（8コンテンツ）			
24年	販売	魚の総菜屋 仕込・販売	
24年	水産	まぐろ加工・販売	
24年	水産	豊洲市場 仲卸	
23年	開発	ドローン開発	
20年	流通	鮮魚店	
20年	インフラ	船舶点検	
20年	水族館	水族館飼育員	
20年	メディア	お天気キャスター	

埼玉県（3コンテンツ）			
22年	環境保全	川博士と案内人	
22年	環境保全	海と川の研究員	
22年	流通	鮮魚販売	

長野県（5コンテンツ）			
23年	漁師	漁港（荷揚げ）	
23年	水産	低利用魚の加工	
22年	水族館	海の飼育員	
22年	流通	豆腐と海	
22年	流通	鮮魚販売	

茨城県（6コンテンツ）			
24年	漁師	うなぎ漁師	
22年～	漁師	漁師（一燈引き漁）	
21年～	土木	テトラポッドを研究開発	
21年	水産加工	しらす加工	
19年	インフラ	ヨットを造る！運航する	
19年	観光	浜の調理師	

千葉県（13コンテンツ）			
24年	水産	九十九里 鮮魚販売	
24年	水産	泉銀 鮮魚販売	
22年	観光	ジオガイド	
20年	漁師	漁師（底引き網）	
20年	観光	ウェットスーツづくり	
20年	観光	マリニショップ店員	
20年	観光	海の観光PR	
20年	水産加工	海苔作りのお仕事	
19年	観光	水中カメラマン	
19年	観光	干潟の魅力を伝える	
19年	観光	観光船	
19年	漁師	漁師（真立て漁）	
19年	保安	ライフセーバー	

神奈川県（14コンテンツ）			
24年	環境	海洋プラ 商品企画・製造	
24年	船舶	船舶 修理・メンテナンス	
24年	水産	ICTと漁業の未来	
24年	観光	フェリー プランニング	
21年～	漁師	漁師（刺し網漁）	
21年～	漁師	漁師（ワカメ漁）	
23年～	調査	ドローン 漁場調査	
23年	研究	海底地図と漁師	
21年	水産加工	しらす干し加工	
21年	漁師	一本釣り漁と魚を出荷	
21年	漁師	キャバツウニの養殖・出荷	
20年	水産加工	ひもの作り	
20年	流通	鮮魚店	
20年	漁師	地引網	

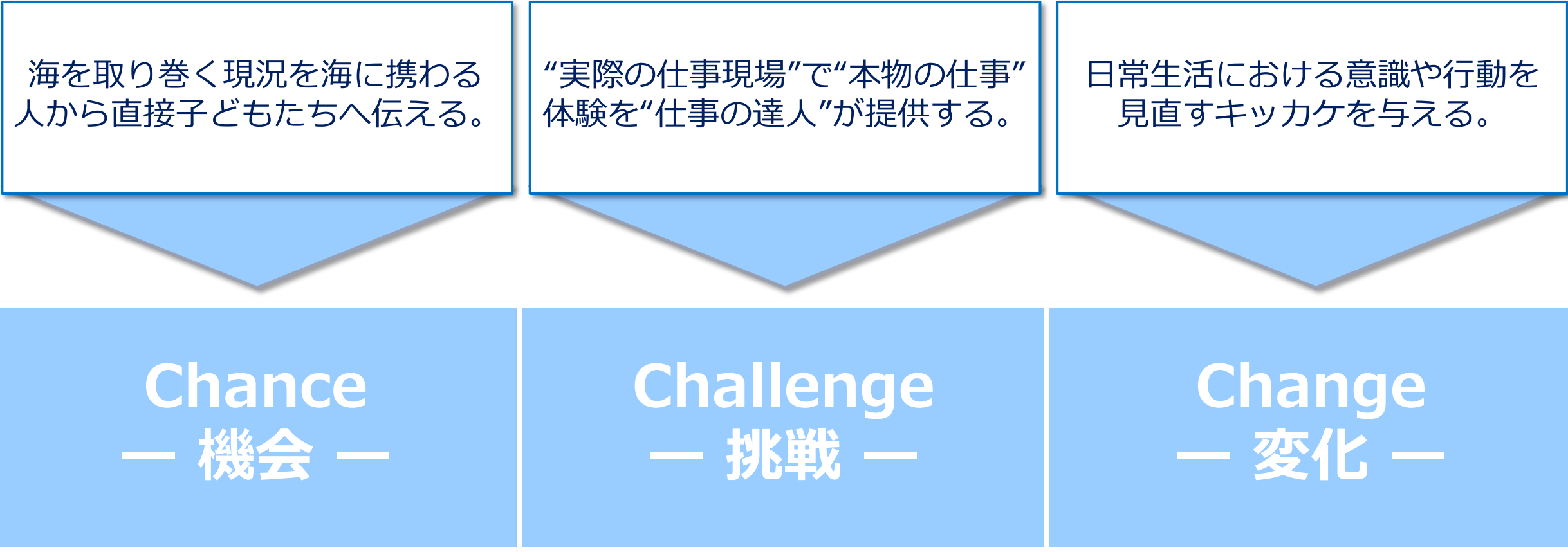
事業内容 - 体験事業 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

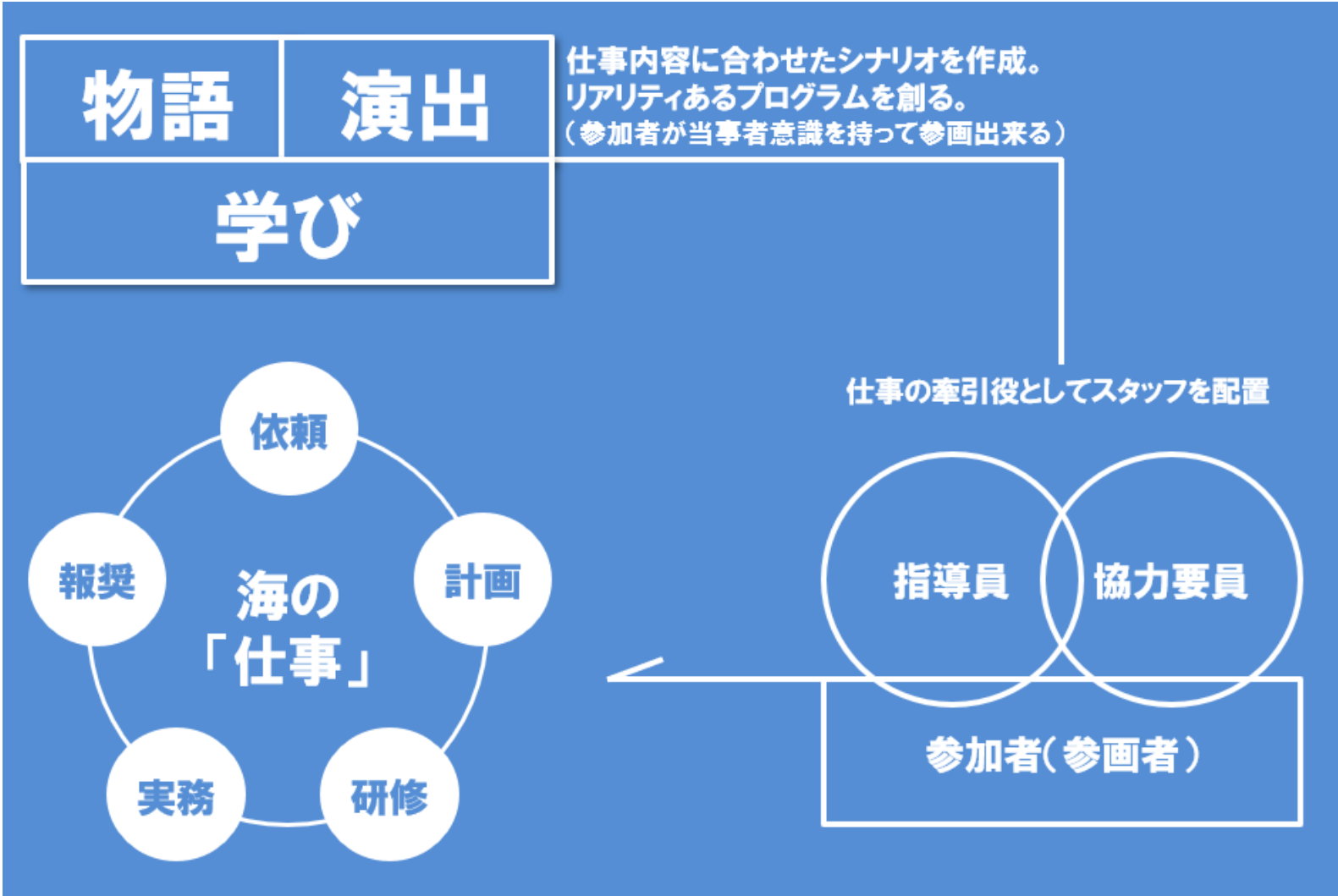
体験事業の本質的な目的や世界観づくりに係る指針を策定

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。



■世界観作りの施策

“リアルな”なお仕事体験を創出するためのストーリーを設計



■ お仕事の流れ

全てのお仕事体験にお仕事の流れを組み込み実施しました。

入社式



自己紹介や挨拶を実施。子どもたちの気持ちを「お仕事モード」に切り替える非日常感を演出。

※各お仕事ごとにミッションを用意し、達成に向かって「研修→お仕事」を行いました。

研修



フリップやホワイトボードを用いた座学の実施。お仕事の前段階として知識の素地を作る。

お仕事



1つの作業体験で終始せず、お仕事ミッションに対して複数の「業務」を実践。

レポート作成



お仕事を実施して感じたこと、学んだことを振り返る時間を設け、記憶と記録に残せるように設計。また、自由研究にも活用できるものとして準備。

給与の受け取り



お仕事を終了した証として、給与(イベント専用のお金)と名刺を授与。

お買い物



イベント専用のお金を使い、地域のお店でお買い物。

24年度開催イベント一覧

24年度は、企画総本数：43種、開催本数：48回、中止8本 ※悪天候・事業者都合により)の開催実績となった。
新規企画数は、中止を含め27種を企画し、さらに連携企業・体験コンテンツの幅が広がる結果へ。

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	申込人数
1	ウミガメ飼育員のお仕事をしよう@静岡県	下田海中水族館	静岡県	2024年8月17日	10名
2	お魚に特化したお弁当屋さんのお仕事をしよう in 調布	サカナノミライ	東京都	2024年8月21日	10名
3	鮮魚店のお仕事体験 in 浦安	鮮魚 泉銀	千葉県	2024年10月12日	8名
4	まぐろ専門店のお仕事体験 in 平和島	天然まぐろ専門店 一番星	東京都	2024年10月19日	10名
5	親子で漁港のお仕事をしよう！@千葉	九十九里漁港	千葉県	2024年11月9日	11名
6	飛行機で行う測量のお仕事をノゾいてみよう！ @調布飛行場	アジア航測株式会社	東京都	2024年12月22日	16名
7	九十九島水族館海きららで イルカトレーナーになろう！@長崎県	九十九島水族館海きらら	長崎県	2024年4月20日	8名
8	深海漁師のお仕事をしよう！@焼津市	長兼丸	静岡県	2024年7月20日,27日,8月3日,8月10日 8月17日	40名
9	テトラポッドで私たちの生活を守るお仕事@茨城県	不動テトラ	茨城県	2024年7月20日	19名
10	柿田川湧水の環境を守るお仕事をしよう！	清水町 くらし安全課生活環境係	静岡県	2024年7月27日	16名
11	世界唯一のお仕事体験！海の手配師に挑戦 ～水族館に生き物を送るお仕事～	ブルーコーナー	静岡県	2024年7月27日	20名
12	幼魚水族館 「館長」のお仕事を体験しよう♪	幼魚水族館	静岡県	2024年7月28日	20名
13	海の安全を守るお仕事を学ぼう！	下田海上保安部	静岡県	2024年8月3日	20名
14	無人島を探検！観光ツアーを作るお仕事をしよう	さいとうスクール	静岡県	2024年8月4日	6名
15	定置網漁師のお仕事をしよう！	網代漁業	静岡県	2024年8月4日	18名
16	水中ドローンで海底を調査しよう！	日本海洋事業株式会社	神奈川県	2024年8月20日 8月21日	20名
17	イルカ飼育員のお仕事をしよう@静岡県	下田海中水族館	静岡県	2024年8月24日	8名
18	漁師のお仕事をしよう！@神奈川県	小坪漁業協同組合	神奈川県	2024年9月7日21日 10月5日10月19日 2024年11月2日16日	76名
19	漁師のお仕事をしよう！@大洗町	大洗町漁協	茨城県	2024年7月27日 10月26日	62名
延べ参加人数					398名

■ 「こどもわーくin清水港」 企画イベント一覧

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	申込人数
1	サクラエビのゲノムを解析し未来の水産資源を守るお仕事をしよう	一般財団法人マリンオープンイノベーション機構	静岡県	2024年7月21日	12名
2	陸上養殖のお仕事をしよう！	三保地下海水養殖センター	静岡県	2024年7月23日	16名
3	はごろもフーズ製品の品質管理のお仕事を体験しよう！	はごろもフーズ株式会社	静岡県	2024年7月24日	21名
4	造船のお仕事を学ぼう～クレーンに登る！～	株式会社三保造船所	静岡県	2024年7月25日	12名
5	造船のお仕事を体験～溶接職人編～	株式会社三保造船所	静岡県	2024年7月26日	12名
6	フェリーを運航するお仕事をしよう！	一般社団法人 ふじさん駿河湾フェリー	静岡県	2024年7月28日	18名
7	巡視艇に乗って、清水港をガイドするお仕事をしよう！	清水港管理局	静岡県	2024年7月31日	8名
8	マグロの目利きのプロ！仲卸人のお仕事をしよう	フジ物産株式会社 ／清水魚株式会社	静岡県	2024年8月3日	28名
9	コンテナターミナルのお仕事	鈴与株式会社	静岡県	2024年8月20日	18名
10	海辺のレストランスタッフのお仕事をしよう！	Gosea's	静岡県	2024年8月23日	中止
11	世界遺産 三保松原を守る樹木医のお仕事ミッションに挑戦しよう！	みほしるべ	静岡県	2024年8月24日	中止
延べ参加人数					145名

■ 「こどもわーくin横浜」 企画イベント一覧

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	申込人数
1	水産研究所 漁業とICTで未来の漁師を体験	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	神奈川県	2024年11月9日	20名
2	船を修理・メンテナンスするお仕事体験	株式会社横浜工作所	神奈川県	2024年12月8日	8名
3	観光フェリーでクルーズプラン企画のお仕事	京浜フェリーボート株式会社	神奈川県	2024年12月15日	20名
4	海洋プラ製品の企画と製造の仕事を体験！	bouy	神奈川県	2024年11月16日	中止
5	水族館スタッフのお仕事を体験	八景島シーパラダイス	神奈川県	-	中止
延べ参加人数					48名

エリア事務局連携 開催一覧

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	申込人数
1	キッズ海上保安官になって海を守ろう！@鳥取	鳥取海上保安署	鳥取県	2024年9月7日	16名
2	マリンアクティビティ サポーターのお仕事をしよう！	渚の交番 カモンマーレ	山形県	2024年9月29日	7名
3	漁師・加工組合のお仕事をしよう！@長崎県	西彼南部漁業協同組合	長崎県	2024年10月5日	4名
4	海の生物を守る仕事を体験・取材してみよう！	とっとり賀露かにっこ館	鳥取県	2024年10月12日	10名
5	漁具店のお仕事やってみよう！@長崎県	兼子漁具店	長崎県	2025年2月15日	4名
6	さかた海鮮市場で鮮魚店の仕事を体験しよう	さかた海鮮市場 株式会社菅原鮮魚	山形県	2025年3月8日	11名
延べ参加人数					

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

ウミガメ飼育員のお仕事をしよう
@静岡県

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2024年8月17日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
親子計 10名

お仕事ミッション：水族館のウミガメの生態を知り、
育てるお仕事をしよう！



【研修/実践内容】

- ① 生態学習 ② 調餌（包丁で魚を切る）
- ③ 給餌（実際の仕事と同じように、餌の計測・準備、給餌などを体験）
- ④ ウミガメの健康状態のチェック ⑤ 水槽の掃除

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び
- ・環境問題の自分ゴト化

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	3.0
地域性	3.0
自走度	5.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、座学でウミガメの生態を学び、飼育員さんが日頃行っている調餌・給餌、健康状態のチェックや水槽の掃除を実践しました。保護者からは「ウミガメが身近になり、ウミガメ保護のための環境保全の意識が高まりました」という感想があり、子どもたちは普段入ることのできないバックヤードに入り、ウミガメの個体に合わせて体調管理を行うことや、飼育員さんからウミガメや海の生物が置かれている環境について知ること、ウミガメへの愛着を深め、人間の生活と生物の命、海や地球環境の関係について考えるきっかけになったと推察できました。

お魚に特化したお弁当屋さんの
お仕事をしよう in 調布

【受入事業者】
サカナノミライ

【開催日】
2024年8月21日

【開催場所】
東京都・調布

【参加人数】
親子 計10名

お仕事ミッション：魚を使ったお弁当やお惣菜を販売しよう！



【研修/実践内容】

- ① オリジナルメニューの調理
- ② 弁当の盛り付けや箱詰め
- ③ お客様への販売や売り込み

【体験を通して伝えたいこと】

- ・惣菜屋やレストランの仕事をすることができます
- ・実際に自分たちで作った料理を販売できます
- ・魚を食べる重要性や魚食文化を学べます

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、サステナブルシーフードやこだわりをもって生産された食材を使用した料理を作る魚のお弁当・お惣菜屋さんで、魚を使ったオリジナル定食の調理・提供の体験を行いました。保護者からは「子供たちが一つのことに集中して取り組む力、一体感が印象的でした。海の生き物が今後ますます貴重なものとなる点、未来に向けて守っていく必要があることを学びました」という感想から、子どもたちは魚を使った料理をお客さんに提供することを通して、海的环境に想像を巡らせ、適切に素材を選びおいしく魚を食べることから、大切な水産資源を未来に繋いでいける可能性に気づくことができたことと推察できます。

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

鮮魚店のお仕事体験 in 浦安

お仕事ミッション：鮮魚店の店頭でお客さんとコミュニケーションしながら魚を食べる楽しさを伝えよう！

【受入事業者】

鮮魚 泉銀

【開催日】

2024年10月12日

【開催場所】

千葉県・浦安

【参加人数】

親子 計8名



【研修/実践内容】

- ①オリエンテーション
- ② 実際の鮮魚販売を見ながら研修
- ③ POP作成
- ④ 店頭での販売体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・ 鮮魚店のお仕事内容や水産物の流通方法などが学べます
- ・ POPを活用しながら、接客の体験ができます

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	4.5
自走度	4.5
体験の質	5.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、浦安の街で愛され、新しい魚食文化のスタイルを生み出している鮮魚店で、鮮魚店の役割、水産物の流通方法について教わりました。お気に入りの魚種を一つ決めてPOPを作り、接客販売の実践を体験しました。保護者からは「商売はモノ売りではなく、コト売りが大切なこと。泉銀は、魚を買う楽しみ、魚を料理、食べる楽しみを提供していることがわかった。」という感想から、子どもたちはお客さんと積極的にコミュニケーションをとることでその魚の魅力や食べる楽しみ方を伝える対面販売の醍醐味を味わい、未来の魚食文化を担う新しい世代としての学びを得ることができたと推察できます。

まぐろ専門店のお仕事体験 in 平和島

お仕事ミッション：極上のまぐろをお客さんに提供しよう！

【受入事業者】

天然まぐろ専門店 一番星

【開催日】

2024年10月19日

【開催場所】

東京都・大田区

【参加人数】

親子 計10名



【研修/実践内容】

- ①まぐろをとことん学ぶ授業
- ② まぐろの調理（解凍、柵を切る、盛り付け など）
- ③ VRでの遠洋まぐろ延縄漁体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・ 魚に関する飲食店の仕事内容や、そこで働く人の思い
- ・ まぐろの漁獲や流通、調理など、幅広い仕事と奥深い魚食文化
- ・ 家でも実践できる美味しい調理方法や処理の仕方

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、元築地のまぐろ競り人が店主を務めるまぐろ専門店で、まぐろを最高のかたちでお客さんへ届ける飲食店の仕事を体験しました。魚種や漁獲の方法、産地の違いなどを座学で学び、冷凍マグロの解凍と柵切り、定食にして提供する実践を行いました。保護者からは「マグロを起点に、お仕事の流れやそれに関わる人たちの様々な立場のお話が非常に学びになる時間でした。」という感想から、子どもたちがまぐろを食べる側の視点だけでなく、食卓に届くまでの流れや関わる人びと、仕事の存在を知り、まぐろの世界や食文化の広さや奥深さを知識と実践の両面から感じる事ができたと推察できます。

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

親子で漁港のお仕事をしよう！@千葉

お仕事ミッション：地元で獲れたハマグリやイワシを使って、直売所での販売しよう！

【受入事業者】
九十九里漁港

【開催日】
2024年11月9日

【開催場所】
千葉県・九十九里

【参加人数】
親子 計11名



【研修/実践内容】

- ①イワシの水揚げの見学
- ② 水揚げした魚の選別、仕分け
- ③ 直売所での販売体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・漁港内の見学で、漁業の裏側を知ることができる
- ・実際に魚に触れる
- ・魚介類の魅力を再発見

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、イワシ漁のさかんな九十九里町の漁港で、水揚げの仕事や漁港に隣接する直売所での販売の仕事の体験を行いました。保護者からは「普段から魚に接しているが、漁港周辺の体験は初めてで、直接倉庫内を学べた」という感想から、子どもたちは魚や海にまつわる仕事にも多種多様な関わり方があり、漁師さんが海で魚を獲ることと、スーパーや飲食店で消費者が手に取り口にできるまでの間にさまざまな人の仕事を経て届けられること、漁港は海と陸の接点として重要な役割を担っていることを学ぶことができた」と推察できる。

飛行機で行う測量のお仕事を
ノゾいてみよう！@調布飛行場

お仕事ミッション：飛行機を使った測量のお仕事について
知ろう！

【受入事業者】
アジア航測株式会社

【開催日】
2024年12月22日

【開催場所】
東京都・三鷹

【参加人数】
親子 計16名



【研修/実践内容】

- ①測量のメカニズムを知ろう、測ってみよう
- ②測量を行う飛行機に触れてみよう
- ③飛行機の運航にどんな人が関わっているのか見てみよう

【体験を通して伝えたいこと】

- ・飛行機に身近に触れる、パイロットからの解説
- ・空から測量する機体に乗ってみる。
- ・空から測量したデータで作られた海の地図をプロから解説して貰おう。

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5
地域性	3.0
自走度	3.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

普段は入ることのできない、調布運航所に潜入。子ども達は地図や海底地図を測量するお仕事を学びました。どのように地図は制作されているのか、実際に測量している飛行機の見学やメカニズムを測量士やパイロットから話を聞きました。そして、測量機器を使って、測量を実践。参加者からは、普段なにげなく使う地図がどのように作られているかを学ぶことができたとの声があった。

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

九十九島水族館海きららで
イルカトレーナーになろう！@長崎県

【受入事業者】
九十九島水族館海きらら

【開催日】
2024年4月20日

【開催場所】
長崎県佐世保市

【参加人数】
親子 計8名

お仕事ミッション：イルカのトレーナーと海洋環境保全のお仕事に挑戦しよう！



【研修/実践内容】

- ① 九十九島の海洋プラスチック問題とイルカについて学ぶ
- ② うみプラプロジェクトの取り組みについて学ぶ
- ③ プラスチックゴミの分別と洗浄を行う
- ④ イルカのエサを準備する
- ⑤ イルカのプログラムにトレーナーの一員として参加する

【体験を通して伝えたいこと】

- ・イルカトレーナーの仕事、うみプラプロジェクトの取り組み
- ・イルカトレーナーの一員として、プログラムへ参加する

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	5.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	5.0

イルカのエサの準備や、サインを出してイルカとのコミュニケーションに子ども達が挑戦。海きららのイルカトレーナーがどのような仕事をしているのか、実際に見て、体験して学ぶことができました。また、海きららで取組んでいる「うみプラプロジェクト」の話を通して、海洋ゴミについても考える機会を提供。海と生物への関りや環境問題について、子供たちが体験を通して自分ごと化を図ることができた。

深海漁師のお仕事をしよう！@焼津市

【受入事業者】
長兼丸

【開催日】
2024年7月20日
2024年7月27日
2024年8月3日
2024年8月10日
2024年8月17日

【開催場所】 静岡県・焼津

【参加人数】 親子 計40名

お仕事ミッション：深海漁師さんと船に乗り、仕掛けを使って深海魚を捕獲し、仕分けしよう



【研修/実践内容】

- ① 深海漁のお仕事
 - ト 深海生物・漁法の学び
 - ト オオグソクムシ漁
 - ト 仕分け、仕掛けの片付け

【体験を通して伝えたいこと】

- ・深海への興味 / 漁法からの学び
- ・海洋資源/従事者の学び、感謝

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	5.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、深海生物や漁法の学習の後、乗船して深海魚の延縄漁を体験し、かかった深海生物を仕分ける体験を行いました。その日かかった深海ザメの解体の様子も見学。保護者からは「普段では絶対に体験できないことが体験でき、とても子どもたちにとって良い刺激となりました」という感想から、さまざまな種類の深海生物に触れ、体のつくりも実物を見て、解明されていないことの多い深海や深海生物について、さらに関心を高めるきっかけになったと推察できます。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要

テトラポッドで私たちの生活を守るお仕事
@茨城県

【受入事業者】
不動テトラ

【開催日】
2024年7月20日

【開催場所】
茨城県・土浦

【参加人数】
親子 計19名



【研修/実践内容】

- ① 海の世界学習
- ② テトラポッドの消波実験
- ③ ミニチュアテトラポッド制作

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の世界学習
- ・研究職への関心（職種紹介）

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、日本の自然災害の特徴とテトラポッドの役割について座学で学び、ミニチュア制作、消波実験、プールでの実験を通して、災害から人々の生活を守る研究職の仕事を体験しました。保護者からは「座学で学び、観察・実験・計算をくり返して実用していくということを大人が仕事として毎日やっているんだということが子どもにも伝わったのではないかなと思う。」という感想から、子どもたちは学校で習う算数や理科・社会の知識が、地震や津波から生活を守る実用の仕事にどのように活かされているかを感じ、実際の現象を目と数字で捉える力の大切さ、防災や研究の仕事の面白さを知るきっかけを得たと推察できます。

柿田川湧水の環境を守るお仕事をしよう！

【受入主体】
清水町
くらし安全課生活環境係

【開催日】
2024年7月27日

【開催場所】
静岡県・清水町

【参加人数】
親子 計16名



【研修/実践内容】

- ① 柿田川湧水の自然環境を学ぶ
- ② 海とのつながりを学ぶ
- ③ 外来種植物の駆除
- ④ 伊豆固有生物の調査

【体験を通して伝えたいこと】

- ・環境保全活動の意識づけ
- ・「水」について考えるキッカケ

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、柿田川の固有種ミシマバイカモを外来種から守る環境保全活動を体験しました。川に胸まで入り、外来種を集めて取り除きました。鮎やアオハタトンボ、青いサワガニなど柿田川の動植物の生態系についても学びました。保護者からの「外来種のオオカワヂシャはすべて手作業でないと除去できず、たくさんの人の力でミシマバイカモが維持されていることを初めて知った」という感想から、子どもたちは、美しい自然を近くで感じながら、自分たちの手で環境を維持する楽しさや気持ち良さを体験し、活動を継続して行う市民団体の存在を知って、人の生活によって一度は壊してしまった環境を、人の手でまた再生したいという思いを抱いたことと推察します。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要

世界唯一のお仕事体験！海の手配師に挑戦
～水族館に生き物を送るお仕事～

お仕事ミッション：海の生き物を丁寧に適切にパッキングして、安全にお客様に届けよう

【受入事業者】
ブルーコーナー

【開催日】
2024年7月27日

【開催場所】
静岡県・沼津

【参加人数】
親子 計20名



【研修/実践内容】

- ① 生態学習
- ② 配送準備
- ③ 生物のトリセツ作成 / 提案

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び
- ・情報/魅力の伝え方
- ・「好き」を仕事にしてみよう

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、世界中にネットワークをもち、水族館等からの依頼で海の生き物を手配して届ける「海の手配師」のお仕事を体験しました。世界で唯一の仕事を作り出した石垣幸二さんから、生き物の生態、生きたまま傷つけずに運搬するためパッキングの方法を学びました。保護者からの「1匹1匹が大切なのであることを改めて感じ、守るべき海の環境保全について 自分ができることを1つでも考えて実行したい」という感想から、子どもたちは、海の環境が守られて生き物が元気に暮らし、いのちを丁寧に運ぶ人のおかげで、遠い海や深い海に棲む生き物を見ることができると有難みを感じることができたと推察できます。

幼魚水族館「館長」のお仕事を
体験しよう♪

お仕事ミッション：幼魚の生態を理解しながら、幼魚の魅力を最大限引き出す展示を考え、発表する

【受入事業者】
幼魚水族館

【開催日】
2024年7月28日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子計 20名



【研修/実践内容】

- ① 水族館に来るお客様の観察
- ② 幼魚の生態、環境を学ぶ
- ③ 展示をする水槽の準備や水質管理、餌やり
- ④ 水槽展示のキャッチコピー作成

【体験を通して伝えたいこと】

小さな体でたくましく生きる進化や工夫、幼魚のデリケートな生態と生育環境、海の偉大さ/感謝の心、仕事の面白さ

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	5.0
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、全国でも珍しい幼魚水族館の館長の仕事をしました。幼魚採集家の鈴木香里武館長から直々に、飼育の方法や展示の工夫を習い、展示企画案を考えてプレゼンしました。保護者からの「どんな魚（人）でも良いところがある。体の色にも意味がある。どんな意見でもポジティブに返してくれるカリブさんから子供と接する基本を教えられたと感じました」という感想から、子どもたちは幼魚の種類ごとの個性や繊細な生態に触れたり、それを守り生かすための適切な飼育方法、水族館来場者に魅力的に伝えるプロデュースの視点を学び、気づいた魅力や感じた愛着を人と共有する楽しさを知ることができたと推察します。

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

海の安全を守るお仕事を学ぼう！

お仕事ミッション：みんなが海を楽しめるように海の安全を守る

【受入事業者】
下田海上保安部

【開催日】
2024年8月3日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
親子 計20名



【研修/実践内容】

- ①海上保安部のお仕事説明
- ②人口呼吸 / AEDの使い方 / 心臓マッサージ方法 / ペットボトルの救助方法 / 救命胴衣の説明
- ③巡視船の船内見学

【体験を通して伝えたいこと】

海の楽しさと危険性、実践を通した海上保安部の仕事

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	3.5
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、海の治安と安全を守る海上保安官のお仕事として海難救助や警備を体験、学習しました。自分の身を守る方法や溺れている人を助ける方法を学んだり、巡視船の船内を見学して様々な設備を見学しました。保護者からは「船内をよく見せていただいて勉強になった。ペットボトルの救助方法は実際に海の中の人を救助することまでやらせてもらい、よりイメージが深まりました。」という感想があり、子どもたちは海の安全を守る人たちの存在やお仕事があること、緊急事態に気づいたら自分たちにもできることがあると知って、海で安全に楽しむために一生役立つ心得を学んだことと推察します。

無人島を探検！観光ツアーを作る
お仕事をしよう

お仕事ミッション：無人島の地形・地質、植生を調査し、見所を伝えるオリジナル観光マップとコース名を考える

【受入事業者】
さいとうスクール

【開催日】
2024年8月4日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
親子 計6名



【研修/実践内容】

- ① ジオパークガイドとして観光マップ制作
- ② 島の磯の生物、地質、植物など基礎知識や特徴を学ぶ
- ③ 観光MAPづくり

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海の生態系の学び（磯の生物を知る）
- ・海への関心向上（海の実験現象を知る）
- ・他者への海の魅力の発信/波及（レポート作成）

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、100を超えるジオサイトをもつ伊豆半島の、南東に位置する無人島（赤根島）で、ネイチャーガイドの仕事を体験しました。珍しい地形や地質、鉱物や植生、生態系の見どころをマップ化し、体験コースづくりを行いました。保護者からは「なかなか見れない景色が見られました。海、島の作りを学び、自然を大切にしたいと思いました」等の感想があり、子どもたちは新しい知識の習得や観察を通して、地球の火山活動や地殻変動といった大きなエネルギーがもたらした景観をより一層楽しみ、人に魅力を伝える視点で考えることの面白さと奥深さを感じ取ったことと推察できます。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（既存・継続イベント：全13種 / 21+?回開催）

定置網漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：沿岸に仕掛けられた定置網にかかった魚を新鮮なままお客さまへ届ける！

【受入事業者】
網代漁業

【開催日】
2024年8月4日

【開催場所】
静岡県・熱海

【参加人数】
子ども18名



【研修/実践内容】

- ①ロープワーク・定置網漁の仕掛けを海に出て船上見学
- ②生け簀から朝とれた魚をピックアップ
- ③生きたままの魚を生き締め・魚を梱包してお店へ出荷する

【体験を通して伝えたいこと】

- ・海洋資源 / 従事者の学び、海の恵みへの感謝
- ・魚食文化 / 漁法からの学び

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、漁師さんの船に乗り、定置網漁の仕事をしました。座学で網の模型を見て全体像を知り、仕掛けてあるポイントに向かいます。魚の習性を利用した、環境負荷少ない昔から行われる漁法であると習います。保護者からは「定置網漁の規模の大きさに驚きました！新鮮な魚を届けるための工夫を知って、美味しくいただけることを改めて有難いなと思いました。」という感想があり、子どもたちは陸からそれほど遠くない海中にある仕掛けのスケールや、そこにかかる魚種の豊富さ、近い新鮮な魚を獲ることができるというメリットを学び、漁法や鮮度を保つための漁師さんの技に心を動かされ、関心を深めたと推察できます。

水中ドローンで海底を調査しよう！

お仕事ミッション：水中ドローンを使用して漁師さんの漁場の「磯焼け」の実態を調査し、報告する

【受入事業者】
日本海洋事業株式会社

【開催日】
2024年8月20日
2024年8月21日

【開催場所】
神奈川県・逗子

【参加人数】
親子 計20名



【研修/実践内容】

- ①海洋調査とは何か？
- ②漁場調査（水中ドローンの点検確認～洋上で操縦＆観察）
- ③ 漁場の調査報告書を漁協に提出

【体験を通して伝えたいこと】

自分の手で水中ドローンを操縦して、普段見えない海の中の様子を見ることができる。新しい技術は海でどのように活用されるのかを体験する。漁師さんと共に漁場に出向き、海の課題などリアルな話を聞き取る。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	5.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、水中ドローンを使った海底調査のお仕事を体験しました。海に出て、漁場の「磯焼け」の現状をカメラで捉え、漁師さんに報告しました。保護者からは「藻場の減少や磯焼け、海洋酸性化など、子供が興味を持ち、調べていた。漁師さんの実際の声を聞いたことでより「自分ごと」として海の状況に目を向け、こどうとしてどんなことができるか考え、実行できるのではないかなと思う」という感想があり、子どもたちは複数のポイントの比較から、海藻が豊富なところには魚もたくさんいることを自分たちの目で見て確認し、漁師さんと一緒に温暖化の影響を肌で感じることができ、学びや問題解決への動機づけを得ることができたと推察されます。

事業内容

【海のお仕事体験プログラム】

- 体験事業 -



■各イベントの実施概要

イルカ飼育員のお仕事をしよう@静岡県

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2024年8月24日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
親子計 8名

お仕事ミッション：イルカの生態を理解し、飼育員の仕事を通してイルカを元気にしてあげよう



【研修/実践内容】

- ① 生態学習
- ② 調餌（包丁で魚を切る）、給餌（実際の仕事と同じように、餌の計測・準備、給餌などを体験）
- ③ トレーニング:イルカショーの演技指導の見学・実践、サインのしくみ、サインのコツと練習など

【体験を通して伝えたいこと】

海の生態系の学び、環境問題の自分ゴト化

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	3.5
地域性	3.5
自走度	5.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、水族館のイルカトレーナーの仕事として、座学でイルカの生態を学び、調餌・給餌、ショーのための演技トレーニングの実践を行いました。保護者からは「現在住んでいる地域だとなかなか海や海に住む生物にふれあうことができないが、このような体験を通すことでより海を身近に感じることができると感じました」という感想があり、子どもたちはイルカの体調を気遣いながら、技の訓練を通して心を通わせ、信頼関係を築く飼育員さんを通して、動物や自然、海などの環境と人とが心地よい関係でい続けるためにどんな気持ちでいることが大切か考えるきっかけになったと推察できます。

漁師のお仕事をしよう！@神奈川県

【受入事業者】
小坪漁業協同組合

【開催日】
2024年9月7日
2024年9月21日
2024年10月5日
2024年10月19日
2024年11月2日
2024年11月16日

【開催場所】 神奈川県・逗子

【参加人数】 親子 計76名

お仕事ミッション：刺し網漁法を体験し、多様な魚種を学び、普段食べている魚が食卓に届くまでの源流を知る。



【研修/実践内容】

- ① 刺し網漁法の研修
- ② 実際の漁師船に乗船
- ③ 荷揚げの手伝い、魚の選別

【体験を通して伝えたいこと】

- ・刺し網漁法の学び
- ・小坪で獲れる魚の特徴など
- ・魚食文化への感謝

【コンテンツ自己評価 (5点満点)】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、逗子の小坪漁港で刺し網漁のお仕事を体験しました。漁師さんとともに前日に仕掛けた網を巻き上げ、かかった魚を1匹ずつ外して獲る体験を行いました。保護者からは「暑い中での漁の仕事の大変さや網や仕掛けの準備など、食卓に魚が届くまでに様々な苦労があることを知った」という感想があり、子どもたちは水を含んだ網の重さや、海の上で遮るものがなく差す日の光が強さ、揚げたばかりの魚の活きの良さをからだで感じ、大自然やいのちを相手にする漁師さんの仕事への尊敬の気持ちを抱き、海の幸をいただくときにはその有難さを思い出すことと推察します。

■各イベントの実施概要

漁師のお仕事をしよう！@大洗町

お仕事ミッション：全国でも珍しい一艘引き漁に挑戦し、新鮮な魚を届ける仕事をしよう

【受入事業者】

大洗町漁協

【開催日】

2024年10月26日

【開催場所】

茨城県・大洗

【参加人数】

親子計 62名



【研修/実践内容】

- ①一艘引き漁の網の引き上げ作業
- ② 漁の特徴説明
- ③ 漁業/魚食文化への課題確認
- ④ 穫れた魚の試食（漁で穫れた魚によって実施します）

【体験を通して伝えたいこと】

魚食文化 / 漁法からの学び、海洋資源 / 従事者の学び、感謝

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、図やクイズを通して、魚の習性ととも到大洗で実際に行われている一艘引き漁について学び、実際に乗船して漁を体験することで、魚が食卓で届く以前にどこでどのように獲られているかを学んだ。保護者からは「船に乗って漁師さんのお話が聞けて、子どもが面白そうでした」という感想から、子どもたちが漁師さんから直接海の環境や魚の生態や習性、漁の工夫、魚の捌き方やおいしい食べ方を学んだことで、リアリティの伴った知識を得、海を大切に思う気持ちを高めることができたと推察できる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（こどもわーくin清水港）

陸上養殖のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：陸上養殖でおいしい魚を育て、水産資源を増やすお仕事をしよう！

【受入事業者】
三保地下海水養殖センター

【開催日】
2024年7月23日

【開催場所】
静岡県・静岡市

【参加人数】
親子 計16名



【研修/実践内容】

- ① 養殖場の見学／説明
- ② えさやり（運搬・計量）
- ③ 魚の成長を調べる（水槽から選別・サンプリング／平均値の計測・記録）
- ④ 水槽の清掃 など

【体験を通して伝えたいこと】

- ・養殖の役割、仕事内容などが学べます
- ・えさやりなどのお仕事を体験します
- ・養殖場を見学できます

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	4.5
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、駿河湾の地下海水を使って陸上で水産資源育成を行う養殖のお仕事を体験しました。水を陸上水槽にどのように汲み上げるのか、使う水にはどんな特徴があるのかを学んだ後、生育管理のための計量やえさやり、施設内の清掃を経験しました。保護者からの「どこでどういうふうに育った魚のかをよく考えて買い物すると思う。何を食べて大きくなった魚なのか今後気になると思う」という感想から、子どもたちは、生育環境を正しく追うことができ、需要に応じて必要な数だけ供給できる養殖のメリットを学び、未来の水産資源を増やし、魚食文化を刷新しながら普及していく可能性に期待を高めることができたかと推察します。

造船のお仕事を学ぼう～クレーンに登る！～

お仕事ミッション：船の部品を移動するために必要なクレーンを操縦がどんな仕事か知ろう

【受入事業者】
株式会社三保造船所

【開催日】
2024年7月25日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子計 12名



【研修/実践内容】

- ① 漁船ができるまでの過程を学ぶ
- ② 造船所の見学
- ③ クレーンおよび操縦席の見学

【体験を通して伝えたいこと】

- ・造船所の見学
- ・造船所で働く人のお話
- ・漁業の大切さや漁船を作る仕事の魅力
- ・地上から30mのクレーンに登って見る造船所の景色

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、漁船専門の造船会社でクレーン操縦のお仕事体験に挑戦しました。地上30mの高さにある操縦室に登り、大きな部品のブロックを船台やドックに運ぶための操作手順や技術を学びました。保護者からは「クレーンに登り、操縦するという貴重な体験ができました。船の造り方やどんな船があるのかなど、興味深かったです」という感想があり、子どもたちは操縦室から一望する造船所の景色を目に焼き付け、風の影響や部品の重心の位置を読みながら、地上のスタッフと連携して、人間の身体の手だけでは成し得ない大きな構造物を造り上げることの感動を感じ、船や海をますます好きになったことと推察します。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（こどもわーくin清水港）

造船のお仕事を体験～溶接職人編～

お仕事ミッション：船の建造の基本！溶接の技術を学ぼう

【受入事業者】
株式会社三保造船所

【開催日】
2024年7月26日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子計 12名



【研修/実践内容】

- ① 漁船の作り方を知る ② 造船所の見学
③ 溶接体験 ④ プロの技術を目の前で体験する

【体験を通して伝えたいこと】

- ・漁船がどうやって作られているのか
- ・溶接体験
- ・見学や実技を通して漁業の大切さ
- ・漁船をつくる仕事の魅力

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、造船会社で船の部品を溶接する仕事を行いました。船造りは1枚の鉄板を切断することから始まることを学び、職人さんと一緒に超高熱の光を当てて鉄を溶かし、接合する体験をしました。保護者からは「船がどのように造られるかが分かり、子どもにとっては非常に勉強になったと思います。特に溶接は普段目にする作業工程ではないので、子どもには印象に残ったと思います」という感想があり、子どもたちは一品ずつオーダーメイドで造られる船の構造や技術の奥深さを知り、海で漁ができ、皆が美味しい魚を食べられるのは船や船を造る職人さんのおかげであると感謝の気持ちと強い関心をもったことと推察できます。

巡視艇に乗って、清水港をガイドする
お仕事をしよう！

お仕事ミッション：清水港の役割や魅力を伝える広報のお仕事に挑戦しよう

【受入事業者】
清水港管理局

【開催日】
2024年7月31日

【開催場所】
静岡県・静岡市

【参加人数】
親子計 8名



【研修/実践内容】

- ① 清水港や管理局のお仕事について学
② 船内アナウンスの担当決めやガイドの練習
③ 巡視艇に実際に乗船してガイドを体験

【体験を通して伝えたいこと】

- ・清水港の役割や、船上から港を見学できます！
- ・巡視艇内で、アナウンスのお仕事に挑戦します

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	4.5
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、面積は小さいけれどコンテナ取扱数全国8位の清水港を見守る巡視艇に乗り、その重要性を伝える広報のお仕事をしました。港や管理局、船内から見える港内の施設について学び、皆で分担して船内アナウンスで紹介しました。保護者から「座学をすることで、ただ船に乗るだけではなく今までしなかった清水について知ることができました。海での仕事はいろいろなことがあり、いろいろな人が支えているんだと思いました」という感想から、子どもたちは港にはさまざまな役割の船、人が行き交い、管理局が入出港を管理することで安全が保たれながら、私たちの生活にさまざまな物が届けられていることを理解できたと推察できます。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（こどもわーくin清水港）

フェリーを運航するお仕事をしよう！

お仕事ミッション：フェリーを運航するお仕事をしよう！

【受入事業者】
一般社団法人
ふじさん駿河湾フェリー

【開催日】
2024年7月28日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子計 18名



【研修/実践内容】

- ① フェリー船のお仕事とは？の研修
- ② 船内巡視、船長室の見学
- ③ 船内放送（参加者の中から数名限定）
- ④ 他、船内業務のサポート

【体験を通して伝えたいこと】

- ・船の安全運行
- ・海の魅力を知る

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、清水港と土肥港を結ぶ駿河湾フェリーを運航するお仕事を行いました。海から見える雄大な富士山をメインに、船内アナウンスで見どころを解説したり、乗客の安全や快適さを保つための巡視、操縦室見学を体験しました。保護者からは「フェリーの運行に携わる人々の多さと、業務の多様さ、24時間船に詰めている人がいることは驚きでした」という感想があり、子どもたちは船が安全にスムーズに運航するためにたくさんの人の仕事が支えていることや、クルーズでは陸上とは違う非日常の景色や時間を楽しめることを感じ、船や海がより身近になったことと推察できます。

コンテナターミナルのお仕事

お仕事ミッション：コンテナの外部・内部を点検し、海外へ荷物を送るための空のコンテナを用意する。

【受入事業者】
鈴与株式会社

【開催日】
2024年8月20日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子計 18名



【研修/実践内容】

- ① 港湾物流のお仕事を学ぶ
- ② コンテナターミナルの見学ツアー
- ③ 輸送コンテナのチェック作業

【体験を通して伝えたいこと】

普段生活している中では知ることのできない港湾物流という仕事について、今回の体験をきっかけに学んでほしい。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、世界129の国との輸出入実績のある清水港で、物流を支える仕事に挑戦しました。普段は立ち入り禁止の岸壁で荷揚げを見学したり、納品するコンテナに異常がないか点検するゲートチェックを行いました。保護者からは「毎週10000個くらい詰めるコンテナ船が出入りしていることを知り、驚いたとともに、コンテナの積み下ろしや点検など、一つ一つの作業が人力でもっと輸入品を大切に食べたり使ったりしようと思いました」という感想があり、子どもたちは機械や船の大きさ、コンテナの多さと同時に、人が目視で正確に流通を成り立たせている細やかさを知り、世界と生活をつなぐ海や港と、そこで働く人の存在が深く心に刻まれたことと推察できます。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（こどもわーくin清水港）

サクラエビのゲノムを解析し
未来の水産資源を守るお仕事をしよう

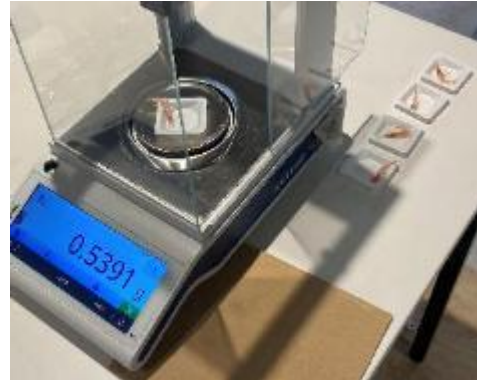
お仕事ミッション：サクラエビのDNAを取り出して、
生息域による違いをレポートし、水産資源保護に役立
てよう！

【受入事業者】
一般財団法人マリンオープン
イノベーション機構

【開催日】
2024年7月21日

【開催場所】
静岡県・静岡

【参加人数】
親子 計12名



【研修/実践内容】

- ①サクラエビの生態について学ぶ
- ②サクラエビを研究
- ③研究レポートの作成

【体験を通して伝えたいこと】

- ・生態系の学びが水産資源を守ることに繋がる
- ・身近な生き物のことを考える
- ・研究をすることの魅力を知る

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.5
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、サクラエビのゲノム解析を通して資源保護に役立てる研究のお仕事を行いました。顕微鏡で雌雄の判定をし、DNAを抽出して生育環境による違いを比較しました。保護者からは「サクラエビに限らず海の資源を守っていくことはもちろん、研究や分析を通して漁師さんやいろいろな会社に関係を持っていて、他にもどんな職業や会社があるのか調べたいと思いました。子供の将来の仕事のヒントにもなると思いました」という感想があり、子どもたちは謎の多いサクラエビを観察し、他の情報と結びつけて因果関係を予想することで、退化／進化の歴史を明らかにし、貴重な生命を未来に繋ぐヒントを得たと推察できます。

はごろもフーズ製品の品質管理の
お仕事を体験しよう！

お仕事ミッション：シーチキンを安全に出荷するために開
缶検査をし、缶詰の品質をチェックする。

【受入事業者】
はごろもフーズ株式会社

【開催日】
2024年7月24日

【開催場所】
神奈川県・三浦

【参加人数】
親子計 21名



【研修/実践内容】

- ① シーチキン工場見学
- ② 製造で使用する機械の体験
- ③ 缶詰の構造を学び、オリジナル缶詰を作成
- ④ フルーツパウチの開缶検査

【体験を通して伝えたいこと】

食卓に並ぶシーチキンの缶詰がどのような流れで作られるのかを学んでほしい。体験を通して、食品加工のお仕事を身近に感じてほしい。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	4.5
自走度	4.5
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.5

子どもたちは、はごろもフーズのキッズスタッフとして、シーチキンやフルーツパウチの品質管理のお仕事を行いました。長期保存を可能にする缶の密閉の仕組みを体験も交えて知り、重量調査や開缶検査や糖度のチェックをしました。保護者からは「消費者に届くまでに多くの工程があり、安心して食べられるよう企業の工夫が長い時間をかけてうまれていったことがよくわかりました」という感想があり、子どもたちや徹底した衛生管理や細やかな品質のチェックがあって、便利で美味しい加工食品が食卓に届くことを知ったり、原材料のマグロやカツオが棲む海や、みかんなどのフルーツが獲れる山の環境にも想いを馳せることができた」と推察されます。

■各イベントの実施概要（こどもわーくin清水港）

マグロの目利きのプロ！
仲卸人のお仕事をしよう

お仕事ミッション：冷凍マグロの目利きをし、出荷するお仕事をしよう！

【受入事業者】
フジ物産株式会社／清水魚株式会社

【開催日】
2024年8月3日

【開催場所】
静岡県・静岡市

【参加人数】
親子計 28名



【研修/実践内容】

- ① 競りの疑似体験
- ② マグロの目利き体験（ランク分けや鮮度チェック等）
- ③ 冷凍マグロをカットする見学
- ④ 梱包作業(出荷作業体験)
- ⑤ -60度の冷凍庫への入庫見学

【体験を通して伝えたいこと】 漁師や市場の役割、仕事内容、本物の冷凍マグロを使ったお仕事。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	5.0

子どもたちは、元築地のまぐろ競り人が店主を務めるまぐろ専門店で、まぐろを最高のかたちでお客さんに届ける飲食店の仕事を体験しました。魚種や漁獲の方法、産地の違いなどを座学で学び、冷凍マグロの解凍と柵切り、定食にして提供する実践を行いました。保護者からは「清水港は冷凍マグロ水揚げNo. 1、日本三大美港だと知った。そんな清水港でマグロの競り体験（目利き方法）を学べたのがよかった」という感想から、子どもたちがまぐろを食べる側の視点だけでなく、食卓に届くまでの流れや関わる人びと、仕事の存在を知り、まぐろの世界や食文化の広さや奥深さを知識と実践の両面から感じることができたと推察できます。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



■各イベントの実施概要（こどもわーくin横浜港）

水産研究所 漁業とICTで未来の漁師を体験

お仕事ミッション：ICTを活用して漁師や市場、魚屋さんになりきり、これからの海の未来を一緒に考えよう！

【受入事業者】
国立研究開発法人
水産研究・教育機構

【開催日】
2024年11月9日

【開催場所】
神奈川県・横浜

【参加人数】
親子 計20名



【研修/実践内容】

- ①水産業の課題や研究の仕事の勉強
- ② ICT機器を活用した漁業のシミュレーションゲーム

【体験を通して伝えたいこと】

- ・実際の研究所で、海に関する研究のお仕事を深く知ることができます。
- ・未来の海を守る漁業のあり方をゲームを通して体験できます。

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	5.0
地域性	2.0
自走度	3.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	5.0

水産研究・教育機構を舞台に、ICTを活用した漁業の効率化を図る「沖底アプリ」を開発した松本教授を講師に、水産の現状や課題、今後のついてを最初に学びました。その後、実際にアプリを使用して、漁師役・市場役に分かれ、漁獲量の管理やレポートなどの業務を体験。ICTを活用することで水産の人手不足や漁獲量の適正化を図るなど、未来の子ども達が担う、水産業の仕事の在り方について、学ぶことが出来ました。

船を修理・メンテナンスするお仕事体験

お仕事ミッション：船を修理・メンテナンスし、安全な運航を実現しよう！

【受入事業者】
株式会社横浜工作所

【開催日】
2024年12月8日

【開催場所】
神奈川県・横浜

【参加人数】
親子 計8名



【研修/実践内容】

- ① 実際の船の修理工場や修理中の船内（操舵室 等）を見学します！
- ② 巨大クレーンを操縦して、荷揚げを行ったり、トランシーバーで指示をする仕事を体験します！
- ③ 教材用のエンジンを使って、チームで組み立てに挑戦します！

【体験を通して伝えたいこと】

船の仕組みや構造、モノづくりの現場の仕事

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.5
地域性	4.0
自走度	4.0
体験の質	4.5
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、横浜で100年以上の歴史をもつ船舶修理事社で、船の修理・メンテナンスの仕事を行いました。エンジンの組み立てと、修理部品を船に再搭載するためのクレーン操縦・誘導を体験しました。保護者からは「特に本物のクレーン操縦など貴重な体験ができて良かったです。船の構造や役割、大切さを知り、船は動くのが当たり前という意識から感謝の気持ちになりました」という感想があり、子どもたちは車とは違って故障時の対応を想像しづらい船を、全国どこでも駆けつけて修理し、安全な運航を支えている人たちの存在を知り、構造や仕組みの理解と技術・経験の積み重ねによって、船を一から作り直さなくても長く動かし続けられることを学んだことと推察できます。

■各イベントの実施概要（こどもわーくin横浜港）

観光フェリーで
クルーズプラン企画のお仕事

お仕事ミッション：横浜の街を海上から楽しむクリスマス
のツアープランを考えよう！

【受入事業者】
京浜フェリーボート株式会社

【開催日】
2024年12月15日

【開催場所】
神奈川県・横浜

【参加人数】
親子計 20名



【研修/実践内容】

- ①観光ツアーの企画を体験！クリスマステーマを考える
- ② 乗船して実際のルートの下見と船の装飾体
- ③ クリスマスクルーズ用のちらしデザインを考える

【体験を通して伝えたいこと】

「観光業」の企画の仕事の魅力、「人」を幸せにし思い出に
なる企画を考える楽しさ、観光船の豊富なレパートリー

【コンテンツ自己評価（5点満点）】

独自性	4.0
地域性	5.0
自走度	4.0
体験の質	4.0
子どもの熱中度	4.0

子どもたちは、横浜港で観光クルーズを行う会社において、ツアープランを考える仕事を行いました。季節に合った企画をつくり、その時期ならではの横浜の魅力を引き出せるように工夫を凝らします。保護者から「横浜を愛し、良さを広げたいと思っている会社があることを知り、横浜に住んでいることに誇りをもてるし大事にしていきたいと思った。観光船の方がどのようなことを考え、企画して多くの人を呼んでいると分かった」という感想があり、子どもたちは航路の下見で見どころを味わいながら、コピーやチラシ、プランや装飾アイデアとして表現し、誰かの笑顔を思って働く仕事の魅力を体感したと推察できます。

■各イベントの実施概要

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトinながさき

「本物の環境で、本物の達人、本物の仕事を学ぶ」をコンセプトに、地域に紐づくお仕事体験コンテンツを通じて、好奇心や感受性を刺激し子どもたちの「生きる力」をはぐくむお仕事プロジェクト事務局と連携。
2024年4月～2025年3月の間、イベント実施事業者の選定、イベント企画・運営及び取材・放送等を行いました。

イベント詳細

イベント1：加工組合の職員になってカマスティックを作ろう！

受入事業者名	伊王島加工組合
開催日	2024年10月5日(土曜日)
開催場所	長崎県長崎市伊王島町
参加人数	小学生3名 保護者2名 計5名
研修内容／研修目的	<p>【研修/実践内容】</p> <p>①水揚げの見学（地域に根付く漁法の説明、伊王島で獲れる魚の説明）</p> <p>②かますの仕分け作業</p> <p>③カマスティック作り</p> <p>【体験を通して伝えたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・スーパーに当たり前前に魚が並んでいることに感謝をすること（漁業への敬意）・環境問題や漁獲量の減少などの関係性を知ること（海洋問題への啓蒙）
当日レポート	伊王島加工組合で、ブランド化もされている「伊王島日の出カマス」を使ったカマスティック作りを体験した。まずは前日に水揚げされた魚の仕分け作業から体験。伊王島で獲れる魚種や近年の漁獲量についても学んだ。今年のカマスの漁獲量は例年と比べかなり減っているということで、長崎の海における温暖化の影響についても考えるきっかけとなった。カマスの仕分けからうろこを取る作業、骨抜き、衣をつけて揚げる、皿に盛りつけるまでの一連の作業を体験し、私たちが新鮮な魚を味わえるのも漁業者および加工業者の苦勞があってこそだということを実感できたのではないだろうか。



イベント詳細

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトinながさき

イベント2：漁具店のお仕事をやってみよう！

受入事業者名	兼子漁具
開催日	2025年2月15日(土) 10:00～12:00
開催場所	長崎県長崎市
参加人数	小・中学生4名（保護者3名が同伴）
研修内容／研修目的	<p>【研修/実践内容】</p> <p>①. 長崎県内の漁業や漁具店の現状を学ぶ</p> <p>②. 漁具や船具の仕組みを学び漁具店の商品陳列</p> <p>③. 海洋ごみを使ったアクセサリー制作</p> <p>【体験を通して伝えたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・長崎県内の漁業や海洋ごみの現状・漁業を支える仕事や、海と日常生活の関係
当日レポート	<p>子供たちは、約80年にわたり長崎県内の漁業を支える、長崎市京泊の兼子漁具でお仕事を体験しました。子供たちは、兼子漁具さんが作ったクイズを通して、長崎県内で多くの種類の魚介類が水揚げされていることや、海が日常生活と密接な関係にあることを知るとともに、漁業環境の悪化に驚いていました。</p> <p>また、子供たちは店内の商品の陳列などを手伝い、「タイラバ」と呼ばれるタイを釣るための仕掛けのほか、漁船を固定する船具などを手に取りながら、その仕組みを学びました。漁具や船具に触る機会が初めてだった子供たちも、兼子漁具のスタッフの丁寧なアドバイスを受けて、真剣に取り組んでいました。</p> <p>そして、兼子漁具が取り組んでいるアクセサリー作りにも挑戦しました。材料は、長崎県内の海岸に漂着した海洋ごみです。長崎県の海岸線は北海道に続き全国で2番目とされていて、離島も多いため漂着する海洋ごみの量は突出しています。兼子さんは「耐久性がある漁具や船具は長年漂流することもあり環境に影響を与えるおそれがある」と、漁具店にとっても海の環境保護は大事なテーマだと説明しました。</p> <p>参加者は、海洋ごみの深刻さを知ると同時に、ごみを捨てないことや海岸清掃の大切さを感じていました。</p>



■各イベントの実施概要

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトin山形

① マリンアクティビティサポーターのお仕事をしよう！ 【SUPのインストラクター体験@山形県】

受入事業者名	NPO法人 エコ・リンクやまがた（渚の交番カモンマーレ）
開催日	2024年9月29日(日曜日)
開催場所	山形県鶴岡市加茂地区
参加人数	親子：3組7名
研修内容 ／研修目的	<p>【研修/実践内容】</p> <p>①. 庄内浜ってどんな海？</p> <p>②. 海での安全を守るためには（ライフジャケット着用の安全講習）</p> <p>③. SUPの乗り方を学ぼう/実際にSUPに乗ってみよう/SUPのインストラクターを体験しよう</p> <p>【体験を通して伝えたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・地元である庄内浜はどんな海かを学ぶ・海でのライフジャケット着用の重要性と着用方法について学ぶ・マリンアクティビティの楽しさを体験する・インストラクター体験を通してマリンアクティビティの楽しさ等を他の人に伝える
当日レポート	<p>NPO法人エコ・リンクやまがたと連携し、小学生4～6年生の親子を対象としたお仕事体験を渚の交番カモンマーレで開催いたしました。このプログラムは、SUPのインストラクターのお仕事を学ぶことで、海を身近に感じ、ライフジャケットの大切さやSUPの楽しさを学ぶという内容です。</p> <p>はじめに、子どもたちが、海での注意点などの話を聞いた後に、ライフジャケットの正しい着用方法を学びました。実際に海に入り浮いてみて、海の危険についてよく理解し安全に楽しむため、もしもの時のそなえを体感しました。</p> <p>次に、SUPのパドルの使い方や、乗り方を学びます。実際に指定されたコースを講師と一緒にまわり、波に流されても上手くコントロールできるようになり、SUPの上に立てるまでになりました。自然の力を感じ、時には海の生物の観察をしながらの体験となりました。</p> <p>その後、子どもたちがインストラクターとして、講師から習った内容を保護者へ講習。照れながらも、ライフジャケットの着用の仕方やパドルの使い方をレクチャーします。教える側になることで、安全への意識がより定着し、教えるという喜びを感じている様子でした。保護者の皆さんにも、子どもたちの成長を感じながら体験してもらいました子どもたちのレクチャーのもと、保護者も一緒に海へ出て、実際にSUPに挑戦します。講師の助けを借りながら、インストラクター役の子どもたちの指導により、みんなで沖に出て少しづつ立ち膝から直立へチャレンジし、全員が立てるようになりました。立ってパドルをこぐ難しさを感じながらも、親子で楽しみと自然の魅力を全身で共有する体験となりました。最後にまとめとして、良かったところなどをコメントし合い、インストラクターとしての役割を果たしました。</p>



■各イベントの実施概要

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトin山形

② 「さかた海鮮市場で鮮魚店の仕事を体験しよう@山形県」

受入事業者名	有限会社 カネヤス（さかた海鮮市場）
開催日	2025年3月8日(土曜日)
開催場所	山形県酒田市 さかた海鮮市場
参加人数	親子：5組11名
研修内容／研修目的	<p>【研修/実践内容】</p> <p>①. 庄内浜ってどんな海？どんな魚が水揚げされるの？</p> <p>②. お魚を観察してみよう</p> <p>③. 鯛を一匹捌いてみよう/お魚の柵からお刺身を切りつけしてみよう</p> <p>④. オリジナルの海鮮丼を盛り付けして味わおう</p> <p>【体験を通して伝えたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・地元である庄内浜はどんな海か、どんな魚がいるかを学ぶ・実際に魚に触れ、疑問点は事業者に質問して学びを深める・菅原鮮魚店のプロから“魚の捌き方”を学ぶ・自分が捌いた魚を海鮮丼にして海の恵みを味わう
当日レポート	<p>3月8日(土)にさかた海鮮市場で、小学4～6年生の親子を対象に海のお仕事体験プロジェクト「さかた海鮮市場で鮮魚店のお仕事を体験しよう！@山形県」を開催いたしました。このプログラムは、鮮魚店のお仕事を学ぶことで海の恵みを身近に感じ、海を取巻く現環境を海に携わる人から未来へ担ぐ子ども達へ伝えるため、日常的かつ継続的な関わりを持ってもらうことを目的としています。</p> <p>はじめに、講師から主な海鮮市場の仕事の流れの説明を聞き、実際どのようにお店で売られているか鮮魚店の中を見学。海の恵みである庄内浜で水揚げされる魚介類について事業者よりお話を聞いたり、質問をすることで学びを深めました。魚を実際にさわってみたり、水槽の中で生きてる魚や貝を観察し、中にはあまり触ったことのない子もいて観察してるうちに夢中になってきている様子がありました。加工された売り場では、これから自分でもさばくお手本として説明を受けながら見学。実際に魚をさばく体験をし、お刺身にするまでの作業を真剣な表情で取り組んでいました。自分でさばいた鯛でオリジナル海鮮丼をつくろう</p> <p>実際に自分でさばいてお刺身にした魚を、講師のデモンストレーションを見てから盛り付けをしました。自由に盛り付けのデザインを、と言われた参加者は、オリジナリティあふれる盛り付けで保護者の分まで完成させました。イベントを通して成長した参加者を見守っていた保護者からも笑みがこぼれていました。</p>



■各イベントの実施概要

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトin鳥取

イベント詳細

イベント1：“キッズ海上保安官”になって、鳥取の海を守ろう！

受入事業者名	鳥取海上保安署
開催日	2024年9月7日(土曜日)
開催場所	鳥取県鳥取市
参加人数	親子計 18名
研修内容／研修目的	<p>【研修/実践内容】</p> <p>①海上保安官の仕事説明</p> <p>②レスキュー体験（救難資機材の装着体験 等）</p> <p>③巡視船に乗船しパトロールの体験</p> <p>【体験を通して伝えたいこと】</p> <p>海が身近にある鳥取の子どもたちに、海上保安庁のお仕事体験を通して海洋環境の保全や海の安全を守る大切さを伝えたい</p>
当日レポート	<p>座学では、海上保安庁の業務について学び、日本の海がどのように守られているのかをご教示いただきました。陸上では「警察」と「消防」がそれぞれの役割を担っているのに対し、海上保安庁はその両方の役割を果たしていることを知り、子どもたちは驚きや憧れの表情を浮かべていました。</p> <p>その後、実際に救難資機材を着用する体験やロープワークの実習を行いました。実践では、巡視船に乗船し、保安官の方からパトロール業務において大切にしていることや注意を払っている点についてお話を伺いました。さらに、双眼鏡を使用して海上の浮遊物を確認したり、海上ルールが適切に守られているかを観察する体験をしました。今回の学びを通じて、子どもたちは「自分たちが安全に暮らせるのは、海を守る人々がいるからこそである」と実感している様子でした。</p>



■各イベントの実施概要

団体名：一般社団法人 海と日本プロジェクトin鳥取

イベント詳細

イベント2：海の生き物を守るお仕事をライターになって紹介しよう！

受入事業者名	とっとり賀露かっこ館
開催日	2024年10月12日(土曜日)
開催場所	鳥取県鳥取市
参加人数	子ども 5名
研修内容／研修目的	<div>【研修/実践内容】</div> <div>①鳥取の海にすむ生き物の紹介や海の変化を知る</div> <div>②かっこ館バックヤードでの業務体験（取材）</div> <div>③体験（取材）したことを自分の言葉で記事（イラスト）にする</div> <div>④記事（イラスト）は後日「とっとり賀露かっこ館」HPに掲載</div> <div>【体験を通して伝えたいこと】</div> <div>・鳥取の海に生息する生き物を展示しながら、その重要性を伝えている施設にて、実際に生き物を保護する業務に携わっている方から、業務内容や生態系について学ぶ機会とし（インプット）、また実際に業務の一部を体験し、その様子を記事にまとめて発信する（アウトプット）ことで、海の大切さを子どもたちの心に深く刻みたい。</div>
当日レポート	施設で展示されている生き物や施設の特徴について、クイズ形式で楽しく説明いただき、子どもたちは熱心にメモを取りながら質問をするなど、活発な学びの時間となりました。その後、生き物へのエサやりや水槽の清掃を体験しました。施設には多くの水槽があり、すべてを清潔に保つには多くの人手と時間が必要であり、大変な作業であることを子どもたちは実感している様子でした。また、後半の時間では、前半で学んだことや体験したことを「誰かに伝える」ことを目的に、それぞれが特に興味を持った内容を文章やイラストで表現しました。



事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

制作物

■基本運営マニュアル

各事業者が、体験実施後に自走化しやすいように運営マニュアルを整備。「海と日本プロジェクト ロゴの掲出」等、実施事業におけるルールなども明確化しました。



【海のお仕事体験プログラム】

■制作動画（10本）youtubeにて公開

イベント名	
鮮魚店のお仕事体験in浦安	造船のお仕事を学ぼう！クレーン編
マグロ目利きのプロ！仲卸人のお仕事をしよう	造船のお仕事を学ぼう！溶接編
お魚に特化したお弁当屋さんのお仕事をしよう	観光フェリーでクルーズプラン企画のお仕事
船を修理・メンテナンスするお仕事体験	海の手配師のお仕事体験
陸上養殖のお仕事をしよう！	—
巡視艇に乗って、清水港をガイドするお仕事をしよう！	—

鮮魚店のお仕事体験 in 浦安

28 回視聴・9 日前

マグロの目利きのプロ！仲卸人のお仕事をしよう

48 回視聴・2 か月前

お魚に特化したお弁当屋さんのお仕事をしよう in 調布

18 回視聴・1 か月前

船を修理・メンテナンスするお仕事体験

182 回視聴・2 か月前

陸上養殖のお仕事をしよう！〜三保サーモン〜の養殖に挑戦

173 回視聴・4 か月前

巡視艇に乗って、清水港をガイドするお仕事をしよう！

140 回視聴・4 か月前

造船のお仕事を学ぼう〜クレーンに登る！/ 溶接職人に挑戦！

340 回視聴・4 か月前

観光フェリーでクルーズプラン企画のお仕事

59 回視聴・9 日前

世界唯一のお仕事体験！海の手配師に挑戦〜水族館に生き物を送るお仕事〜

190 回視聴・4 か月前

<https://www.youtube.com/@kodomowork/videos>

■ 体験演出

■ 名刺

お仕事終了後に当日のお仕事の講師から「修了証」の位置付けで子ども達に配布。同僚(他の参加者)や講師と名刺交換も行いました。



中央には、子どもたち一人ひとりの名前を記入しました。

※こちらは、「海底地形を航空測量するお仕事」のものとなります。全てのお仕事で各お仕事に沿った制作物を用意し運営致しました。

■ 報酬（缶バッジ）



■ 報酬（疑似給料）



■ コスチューム



お仕事のテーマに合わせた、コスチュームを着用することで、仕事への本気度や没入度、一体感を醸成し、体験の質向上に貢献。また、缶バッジを報酬として渡すことで、体験の回遊性（コレクション性）を向上を狙った。合わせて、いこーよマネーといった疑似通貨で、体験締めくくりを演出した。

■ イベント総括補足資料 (子どもたちのアウトプット (日報) ※一部)

子どもたちがお仕事の最後に日報を作成 (お仕事の振り返り)



子どもたちのアウトプット (日報) ※各お仕事毎に専用のフォーマットを用意

お仕事の大切な学びを
絵と共に振り返る。

うみ しごと たいけん
【海のお仕事体験レポート】 なまえ: 田中 和香

きょう しごと
今日のお仕事のミッションをかいてみよう!

コンテナの定けん

きょう おも で え
今日の思い出を絵にかいてみよう!

きょう しごと たいけん し
今日のお仕事を体験して、はじめて知ったこと、おどろいたことは?

【かんそうをかいてね】

中をちゃんと定けんするの大事だと言うのを初めて
いろいろな色のコンテナがあることを初めて知りました。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT
海のお仕事体験プロジェクト こどもわーく

ふどう けんきゅう
不動産 テトラポッド 研究レポート
FUDOTETRA
なまえ: 長岡 あい
名前: 長岡 あい

やくわり
■テトラポッドの役割

テトラポッドは(かみけし)と言われ、(ちから)の力を消すためのもので。ブロックを積み重ね、ブロックの(あき)を使って、波や流れの力を(きく)します。

ざいしつ
■材質 (何で出来ている?) (コンクリート)

じっさい おお
■実際の大きさ (80000x80)

つか ばしょ
■テトラポッドが使われている場所

ことば えら
【ここから言葉を選ぼう: 護岸 / 河川 / 防波堤】

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT
海のお仕事体験プロジェクト こどもわーく

事業内容 – WEB・SNS事業 –

WEBページ

トップページ



海のお仕事体験プロジェクト 公式HP (<https://kodomowork.net/>)

24年度はお仕事プロジェクト全体で、総PV210,000以上の閲覧数に。募集は親子向け大手おでかけ情報サイトいこーよを活用。LINE会員への導線づくりや、日本財団のロゴを合わせて掲出。会員獲得や海と日本プロジェクトのブランディングにも貢献。

■各体験の募集ページ



2024年の特別イベント



■各エリア企画の特集ページ



お仕事体験イベント



SNS運用

■ こどもわーく LINEアカウント

24年度は、“友だち数”約2,500名以上突破。

海のお仕事体験プロジェクトのファンを育て、増やして、様々な地域の体験を発信することで、地域を超えた海のつながりの輪を全国へと広げていく。



■ こどもわーく Instagram

お仕事体験のイベントレポートや、リアルタイムのストーリーズを投稿。体験レポートをストックしていくことで、2年目以降の集客時の告知はもちろん、お仕事全体のブランディングにつなげる。

■ こどもわーく Youtube

実際の体験の様子をyoutubeにて公開。参加者の募集時の参加喚起材として、また、新規企業やメディアへのアプローチ時に、プロジェクトイメージとしての宣材素材として活用。



メディア掲出実績

8/20 3者鼎談企画の実施

静岡市長×海野常務×鈴木副社長 登壇



こどもわーくin清水港のメイン企画として、行政、地域全体の巻き込みを目的とした、静岡市長・地域の主要企業である鈴木株式会社の副社長、そして海野常務の鼎談企画を実施。年度当初より各所への交渉を進め、スケジュール調整の難しい静岡市長の登壇が実現。行政・企業の各社の目的が合致するような企画・ストーリーを構想し、3者には各ポジションにおける、海洋環境や海洋人材の減少への課題感、今後の海の産業について、60分程度の鼎談を実施した。

●地域の主要メディアが集結！ 31媒体の露出成果

プロジェクト広報戦略、認知のための山場作りとして、「こどもわーくin清水港」にて、地域の主要企業および地域行政の中心である静岡市長をプロジェクトに巻き込んだことにより、地域のテレビ・新聞などの主要メディアが集結。1イベントで31媒体の露出に成功。

地域内での「海のお仕事プロジェクト」の認知拡大・ブランディングに大きく貢献。



テレビ

計6媒体掲載

エリア	日付	媒体名
東海	8/20	LOOK 静岡朝日テレビ
東海	8/20	テレビ静岡「ただいま！テレビ」
東海	8/20	静岡朝日テレビ「とびっきり！しずおか」
東海	8/20	SBSニュース
山梨	8/30	YBS山梨放送「やまなしマルシェ」
関東	9/15	テレ東「みんなのあおいろ」

▼ 静岡朝日テレビ「とびっきり! しずおか」



▼テレビ静岡「ただいま！テレビ！」



▼YBS山梨放送「やまなしマルシェ」



▼SBSニュース



新聞・ラジオ

日付	媒体名
8/20	日本経済新聞（新聞・WEB）
8/21	静岡新聞
8/21	SBSラジオ
8/26	日本海事新聞
8/27	輸送経済新聞
9/18	InterFM know the sea
9/20	静岡ビジネスレポート

▼静岡ビジネスレポート



計7媒体掲載

▲Inter FM

▲SBSラジオ



▼静岡新聞



▼輸送經濟新聞



▼日本海事新聞

小学生がCTの仕事体験



WEB



5本リリース

計156媒体掲載

7/1 清水港 鼎談企画リリース
現代ビジネス
おたくま経済新聞
STRAIGHT PRESS（ストレートプレス）
マピオンニュース
東洋経済オンライン
CREA WEB（クレア ウェブ）
財経新聞
PRESIDENT Online（プレジデントオンライン）
@DIME（アットダイム）
ReseMom（リセママ）
JBpress（ジェイビープレス）
読売新聞オンライン
BIGLOBEニュース
iza（イザ！）
産経ニュース
TBS NEWS DIG
TRAICY（トライシー） ほか15社



エリア事務局 放映



一般社団法人 海と日本プロジェクトin山形

イベント名	マリンアクティビティサポーターのお仕事をしよう！【SUPのインストラクター体験@山形県】
放送日	2024年11月1日(金)～11月24日（日）
放送番組名	フリースポットミニ番組にて 上記期間中に7回放送（各120秒）

イベント名	さかた海鮮市場で鮮魚店のお仕事を体験しよう！@山形県
放送日	2025年3月17日(月)～3月31日(月)
放送番組名	フリースポットミニ番組にて 上記期間中に12回放送（各120秒）

一般社団法人 海と日本プロジェクトinながさき

イベント名	加工組合の職員になってカマスティックを作ろう！
放送日	2024年12月29日 23時35分～24時35分
放送番組名	「海と生きるSP」

イベント名	漁具店のお仕事をやってみよう！
放送日	2025年3月27日 22時54分～23時00分
放送番組名	「海と日本プロジェクトinながさき」



一般社団法人 海と日本プロジェクトinとっとり

イベント名 キッズ海上保安官”になって、鳥取の海を守ろう！
放送日 2024年9月16日
 11:40～11:42
放送番組名 日本海テレビ
 「NNNストレートニュース」内



イベント名 海の生き物を守るお仕事をライターになって紹介しよう！
放送日 2024年10月16日（火）
 18:15～19:00
放送番組名 日本海テレビ
 「One3部」

参考資料

お仕事体験後に自由研究レポートをまとめ、
川崎市から表彰状をもらう参加者が！

参加イベント：「幼魚水族館 館長のお仕事体験」

- ・お仕事体験に参加した後、自発的に体験の感想・気づきを自由研究にまとめる
- ・模造紙4枚分の膨大な量をアウトプット、校内外で発表するなど、子供からの二次発信
- ・感想だけでなく、海への環境に関する考察や今後のアクションまでまとめられている

◎「幼魚水族館の仕事体験 自由研究レポート」
川崎市 社会科作品展 受賞・川崎市教育員から表彰状
小学校4年生 碓井さん



体験後の参加者による自発的なアクション

参加イベント：「漁師のお仕事体験@茨城」「刺し網漁師のお仕事@神奈川」「造船のお仕事@静岡」

碓井さんだけでなく、各地で開催されたお仕事体験に参加した子ども達が、
夏の自由研究テーマとして、体験に参加した感想や気づきをまとめ、学校で発表している。

